

# 2024年度附屬図書館事業報告

2025年3月

# 目次

1. 令和5年度の附属図書館重点施策	p.3
2. Vision1 教育	
(1) 【本館】2号館の土日祝日開館（試行）について	p.4
(2) 【本館】Wi-Fi環境の増強	p.5
3. Vision2 研究	
(1) APC支援事業	p.6
(2) OASE	p.7
(3) オープンアクセス加速化事業	p.8
(4) 東北大学総合知デジタルアーカイブ事業	p.9
4. Vision 3 社会共創	
(1) 令和6年度企画展「源氏物語みやびの継承」	p.10
(2) 総合知デジタルアーカイブ公開記念展示「チベット仏教の精華」	p.11
5. Vision 4 経営革新	
(1) 海外視察	p.12

## 1-1.学習支援内容の再構築

- ・大学図書館における学習支援の在り方を見直し、本学の教育を支援する計画を策定し、実施する。
- ・高大連携の新たな在り方を検討し、本学として優秀な学生を獲得できるよう取り組む。

## 1-2.学習・研究に必要な資料の充実

- ・本学の学習・研究支援に必要な資料（図書・雑誌
- ・電子ブック・電子ジャーナル・データベース等）の充実に努める。

Vision 1  
教育

## 2-1 学術情報のデジタル利用・オープンサイエンスの推進

- ・Wiley 社、SpringerNature 社、Elsevier 社との電子ジャーナル転換契約パイロットプロジェクトを十分活用できるように円滑に運用するとともに、その効果の検証を行う。
- ・他大学・関連組織との連携を強化し、電子資料整備の最適化、オープンサイエンスの推進のための研究成果発信のいっそうの展開を図る。

## 2-2 「東北大学総合知デジタルアーカイブ」の整備

- ・国文学研究資料館のプロジェクトや当館の計画に基づき、古典資料のデジタル化を引き続き進める。
- ・学内の関連組織との連携により、学内全体のデジタルアーカイブシステムの運用を開始する。
- ・デジタルアーカイブの活用に資する企画を検討し実施する。

Vision 4  
経営  
革新

## 4-1 附属図書館将来構想の検討

- ・「附属図書館の組織合理化と機能高度化のための計画（令和6年3月28日改定）」に基づき、図書館機能・職員の高度化・国際化に取り組む。
- ・2号館の改修案を検討し、施設部との意見交換を行う。

## 4-2業務改善及び職員の高度化・国際化

- ・令和5年度までに実施した自己点検評価及び外部評価の結果を参考に、業務の改善を図る。
- ・「東北大学事務職員人事マネジメント基本方針」に基づき、図書系職員のキャリアパスについて検討する。
- ・PRRLA（環太平洋研究図書館連合）の2025年総会の開催のための体制を構築し、準備を進める。

## 4-3業務DX化の推進

- ・各種ツールの活用等により、業務の簡素化・効率化、利用者の利便性向上を図る。

## 4-4東北大学特定基金「図書館のみらい基金」の有効活用

- ・基金への積極的な寄附の呼びかけを行うとともに、教育・研究支援、社会貢献を踏まえた使途を検討し、有効に活用する。

Vision 3  
社会  
共創

## 3-1 資料展示企画等の実施による社会への還元

- ・本学の所蔵資料をアピールできるような企画展示、イベント等を実施する。
- ・大学が関係する諸事業に協力する。

## ● オンラインの訴求力・波及力による広報展開

- ・SNS の活用により、利用者へのタイムリーな広報や、学内外へ附属図書館の諸活動の積極的な発信を行う。

## 【本館】2号館の土日祝日開館（試行）について

- 本館2号館の製本雑誌等の利便性向上のため、以下のとおり、授業期の2号館1～3階の利用時間を拡大しました。

- ・期間（試行） : 2024年11月16日（土）より
- ・平日 : 8:00～20:00
- ・土日祝日（通常期） : 10:00～20:00（以前は休館）
- ・土日祝日（試験期） : 8:00～20:00（以前は休館）



## 【本館】 Wi-Fi環境の増強

- 2025年2月に、川内本館のWi-Fiルーターの増設および最新機種への交換を行いました
- Wi-Fi増強については、 5年度学生評議員多くの要望をいただいていました。  
令和5年度学生評議員  
「川内図書館におけるeduroamが弱いので整備してほしい」  
その声を受け、総長裁量経費を要求、増強を実施することができました



**OPEN ACCESS**

**令和6年度 東北大学  
オープンアクセス推進のための  
APC支援事業**

Call for FY2024 Support Program for the Article Processing Charge (APC)

若手研究者に期間限定で  
**100%の  
APC支援を実施!**  
100% subsidy for young researchers  
(Limited time offer).

若手以外の研究者も条件により  
**最大100%の  
APC支援を実施!**  
Up to 100% subsidy for senior researchers, depending on several conditions.

令和6年より  
**Elsevierの  
100%支援対象が拡充!**  
100% subsidy for Elsevier is expanded from 2024!

本学の研究成果発信力強化及び若手研究者支援のため、国際的な学術ジャーナルに投稿される論文のオープンアクセス化にかかる経費の支援を実施します。支援プログラムは下記の2種類です。いずれかに該当する場合には、投稿論文をオープンアクセスで出版するためのAPC(Article Processing Charge)費用を支援します。

To enhance the University's capacity to disseminating research findings and supporting young researchers, financial assistance is provided for open access to articles submitted to international academic journals. There are two types of support programs available, and if either of them is applicable, the University will cover the Article Processing Charge (APC) fee for publishing the submitted paper with open access.

**1 Elsevier/Springer/Wiley支援プログラム**  
Elsevier/Springer/Wiley Support Program

**2 ハイインパクトジャーナル投稿支援プログラム**  
High Impact Journal Submission Support Program

詳細は→ <https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/apc-kakudai>

lib.apc@grp.tohoku.ac.jp

● 2024年度APC支援事業  
研究成果発信力強化及び若手研究者支援のため、国際的な学術ジャーナルに投稿する論文のオープンアクセス化にかかる経費 (=APC) 支援を実施しています。

以下の2つのプログラムがあります。

- ① Wiley/Springer/Elsevier  
拡大プログラム
- ② ハイインパクトジャーナル  
投稿支援プログラム

令和6年度  
**オープンアクセス推進のための  
APC支援事業**

Call for FY2024 Support Program  
for the Article Processing Charge (APC)

<https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/apc-kakudai>  
(学内限定)

[ABOUT OASE](#) [LINKS](#) [English](#)

## OASE

Open Access for Scholarly Empowerment



## ABOUT OASE

[OASEについて](#)

### 学術の未来を拓く力

OASEは「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の実現を目指し、政府からの体制構築の支援を受け、グローバルな学術出版社等との大学を主体とする集団交渉のために、2024年に発足したチームです。

[詳しく見る](#)

●OASEは「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の実現を目指し、政府からの体制構築の支援を受け、グローバルな学術出版社等との大学を主体とする集団交渉のために、2024年に発足したチームです。

●東北大学附属図書館は事務局をつとめています。

# オープンアクセス加速化事業

- 文部科学省のオープンアクセス加速化事業採択を受け、学内各部局と連携し、以下の事業を実施しました。

## 1. 本学システムとNII研究データ基盤間の連携システム

担当部局：情報部、データシナジー創生機構、サイバーサイエンスセンター、研究推進部、RMセンター、附属図書館

## 2. リポジトリ登録申請の連携機能

担当部局：情報部、データシナジー創生機構、サイバーサイエンスセンター、附属図書館

## 3. OA加速化ストレージ

担当部局：情報部、データシナジー創生機構、サイバーサイエンスセンター、附属図書館

## 4. 転換契約対象外のジャーナル投稿に対するAPC費用支援

担当部局：附属図書館、研究推進部、RMセンター

## 5. 東北地区の大学での機関リポジトリによるOA推進活動

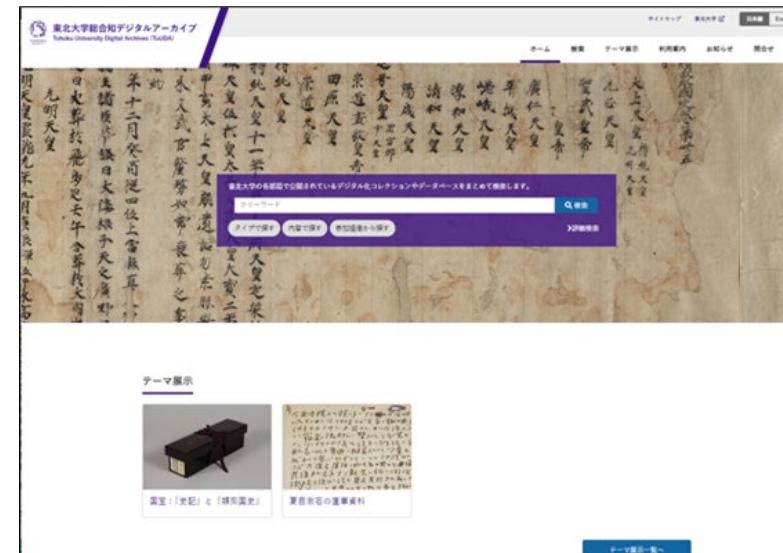
担当部局：附属図書館

# 「ToUDA 東北大学総合知デジタルアーカイブ」公開

- 「ToUDA 東北大学総合知デジタルアーカイブ」を4月4日に公開しました。総合知の創出に寄与する知的基盤として、学内で保有するデジタル化した文化・学術資源（古典籍・大学史料・博物資料等）を文系・理系を問わず収録し、統合的に公開するプラットフォームです。
- 現在の登録数は以下で、順調に増加しています。

2025年2月26日現在

	画像有メタデータ件数	画像コマ数
図書館本館	55,257	3,236,205
史料館	12,402	39,745
医学分館	97	3,322



<https://touda.tohoku.ac.jp/portal/>

# 令和6年度企画展「源氏物語 みやびの継承」

●附属図書館が所蔵する古典資料を通じて源氏物語の持つ魅力や、広く世間へ親しまれた様子、作者である紫式部の人物像などを紹介しました。

## ＜開催概要＞

日時：2024年10月28日(月)～11月8日(金)  
 場所：東北大学附属図書館（本館）1F多目的室  
 時間：10:00～16:00  
 監修：横溝博（東北大学大学院文学研究科教授）

## ＜特別イベント＞

日時：2024年11月4日（月・祝）13:00～15:40  
 定員：100名（先着順）  
 場所：東北大学 川内南キャンパス 文科系総合講義棟2階  
 第2講義室（204番教室）  
 プログラム：  
 (第一部 特別講座 13:00～14:30)  
 大木一夫 東北大学文学研究科教授「司馬遷『史記』と漢文訓読」  
 横溝博 東北大学文学研究科教授「牢屋奉行の源氏学『窓原抄』の成立をめぐって」

(第二部 留学生と語る源氏物語 14:40～15:40)  
 辛悦（東北大学文学研究科博士後期課程）「中国の源氏物語 豊子愷訳を中心」  
 バリーニ・エバ（東北大学文学研究科大学院研究生）「イタリアの源氏物語 オルシ訳を中心」  
 座談会「世界のなかの源氏物語」留学生×横溝博教授

2024年

10月 28日(月)～  
 11月 8日(金)  
 (開催時間 10:00～16:00)

## 東北大学附属図書館

本館1F多目的室 事前入場無料

(〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内27-1)  
 地下鉄東西線川内駅／国際センター駅 徒歩10分

令和6年度企画展

# 源氏物語

東北大学附属図書館が所蔵する古典資料を通じて、作品の魅力や広く世間へ親しまれた様子、作者である紫式部の人物像などを紹介します。本学教授による特別講座や外国人留学生とともに探っていきます。

みやびの  
継承

## 特別イベント

第一部 特別講座
大木一夫（東北大学文学研究科教授） 「司馬遷『史記』と漢文訓読」
横溝博（東北大学文学研究科教授・本研究室） 「牢屋奉行の源氏学 —『窓原抄』の成立」
第二部 留学生と語る源氏物語
辛悦（東北大学文学研究科博士後期課程） バリーニ・エバ（東北大学文学研究科大学院研究生） 座談会「世界のなかの源氏物語」留学生×横溝博教授
場所
東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟2F 経済学部第二講義室（204）
日時
11月4日(月・祝) 13:00～15:40
定員
先着100名（事前申込み制）
Webでの事前申込みは右のQRコードからお願いいたします。 お問い合わせでのお申込みも可能です。詳報は東北大学附属図書館本館、宮城県図書館、仙台文庫でも配布している本紙チラシをご参照ください。

後援：NHK 仙台放送局

総合知デジタルアーカイブ公開記念展示「チベット仏教の精華」

- デジタルアーカイブToUDAの公開を記念し、附属図書館所蔵のチベット大蔵経に加え、文学研究科所蔵の河口慧海がチベットから日本に持ち帰った仏教美術や工芸品などの名品を紹介する展覧会を開催しました。

## ＜開催概要＞

日時：2024年11月18日(月)～12月13日(金)

場所：東北大学附属図書館（本館）1F多目的室

時間：10:00～16:00

主催：総合知デジタルアーカイブ運営委員会・学

術資源研究公開センター・附属図書

共催：文学研究科・統合日本学センター



● オープンアクセスを中心とした調査のために、海外視察を実施しました。視察結果は、館内向けの図書館ウェビナーで報告したほか、投稿なども準備中です。

日程	訪問先	訪問者
2024/12/8-12/12	Simon Fraser University University of British Columbia	堀野陽子工学分館整理運用係長 渡邊愛子総務課専門員
2025/1/20-1/25	香港理工大学 香港大学 香港中文大学	小飯塚猛閲覧係長 中島大雑誌情報係主任 小林千夏北青葉山分館図書係員
2025/1/21-1/25	University of Oregon	三角太郎総務課長 木下直情報管理課長 後藤浩子受入係長